

クローバー Glover

<S> 57-461  
<L> 57-462

つまみ細工プレート  
丸ひだつまみ

作り方説明書

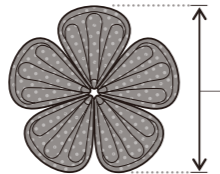
この説明書は、57-461 <丸ひだつまみ S> 57-462 <丸ひだつまみ L> 共通です。イラストは、<丸ひだつまみ L> で説明しています

プレート

はじめに...

1枚の布から花びら1枚が作れます。花びらを数枚縫いつなぐと、お花ができあがります。お好みで花びらの数を調節してください。

お花



<S> 約 5cm  
<L> 約 7.5cm

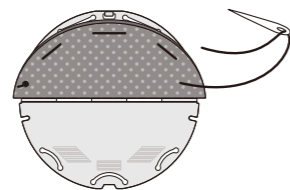
※使用する布で作る花びらの枚数によって変わります。

花びら

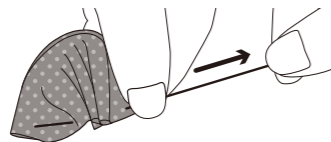


③ プレートをはずし、花びらの形を整えます。

① プレートをはずします。



② 糸を引きしめます。

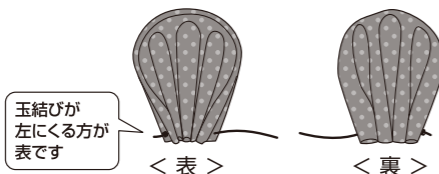


③ 花びらの形を整えます。

花びらの先端を折り返し、形を整えます。



花びらのできあがりです。



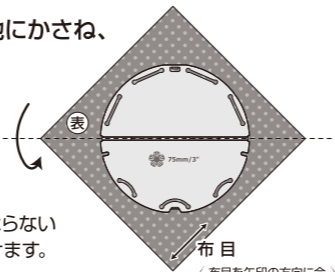
玉結びが左にくる方が表です

① プレートに布地をはさみ、カットします。

① プレートを布地にかさね、折り込みます。

布の用尺  
<S> 約 8cm角  
<L> 約 11cm角

※ 布地にしわがよらないように気を付けます。



② プレートの端の突起部で布地をはさみ、固定します。

※ 布地によっては、プレートが開いてくる場合があります。その場合は、手で押さえながら使います。

プレートの奥までしっかり布をはさみます

③ プレートに沿って、布地を切り抜きます。

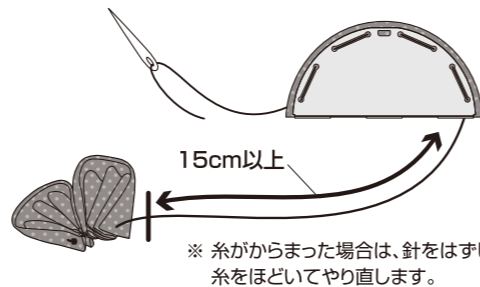
※ ぬいしろは必要ありません。



④ 続けて花びらを作り、お花を作ります。

① 同じ糸を使って、①～③をくりかえし、必要な数の花びらを作ります。

糸がからまらないように、できあがった花びらとプレートを15cm以上離します。



※ 糸がからまった場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。

糸が途中で足りなくなったら...

糸が途中で足りなくなった場合は、糸を引きしめて玉止めをします。最後に作った花びらの根元に新しい糸を通し、続けて花びらを作ります。



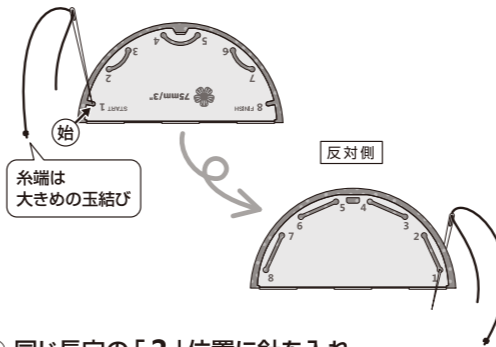
新しい糸を通します

前の糸は玉止めをします

② プレートの番号順に、長穴に糸を通します。

① 裏返して「1 START」位置の穴に針を入れ、反対側の長穴の「1」位置に針を出します。

糸の長さ <S> 約60cm / <L> 約70cm



② 同じ長穴の「2」位置に針を入れ、糸がたるまないように引きます。



※ 糸を引きしめすぎて、プレートにはさんだ布をずらさないようご注意ください。

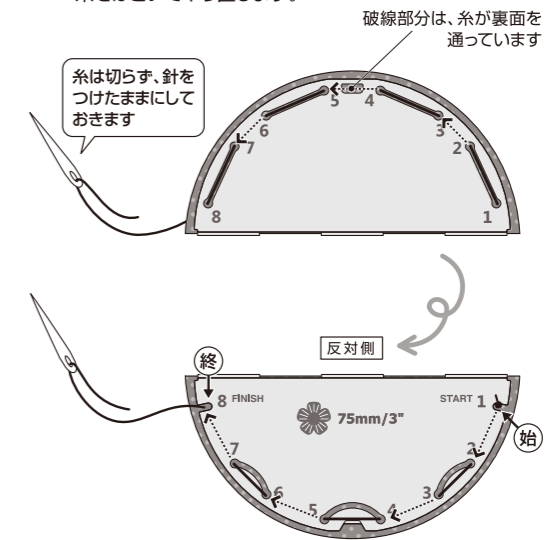
注意!

糸がたるんでいると、糸がからまる原因になります。



③ 続けて、番号順に長穴に糸を通していきます。

※ 順番を間違えた場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。



☑ チェックポイント

縫い目は長穴の内側を通ります。

縫い目がプレートをまたいで、別の長穴に通っている場合は間違いです。

準備する材料 (5枚の花びらのお花を作る場合)

<規格>	<S>	<L>
花びら1枚分の布の用尺 × 花びらの枚数(5枚)	約 8cm角 × 5枚	約 11cm角 × 5枚
糸の長さ ※ キルト糸などの丈夫な手ぬい糸	約 60cm	約 70cm

○ 適する布

薄地～普通地のやわらかい布

シーチング、ブロード、サテン、ちりめん、オーガンジー、シフォン、薄地ウール など

✗ 適さない布

中厚～厚地、硬い布、目の粗い布

デニム、キャンバス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、レース など

使用上の注意

- ・ 本体は高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避けください。
- ・ 過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避けください。
- ・ 長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管してください。

④ 本製品や作り方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

クローバー株式会社  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5  
「お客様係」 TEL.(06)6978-2277